

II 各教科の結果概要

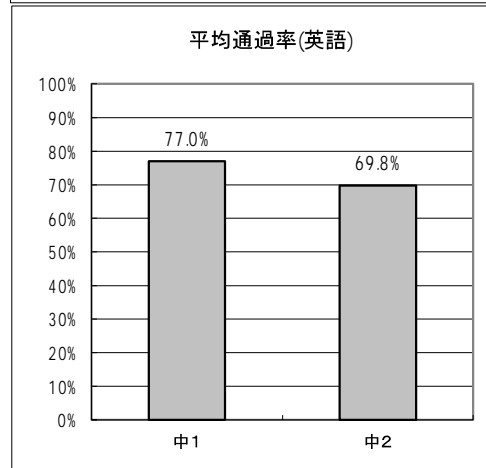
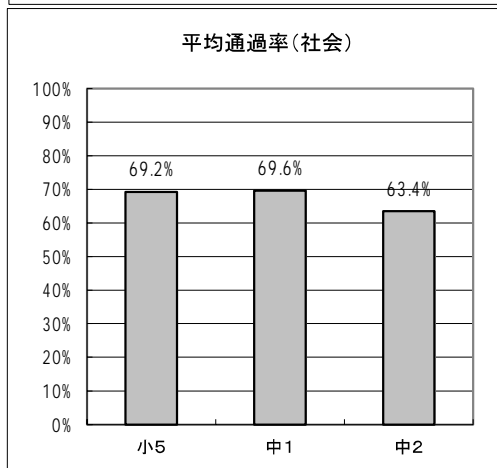
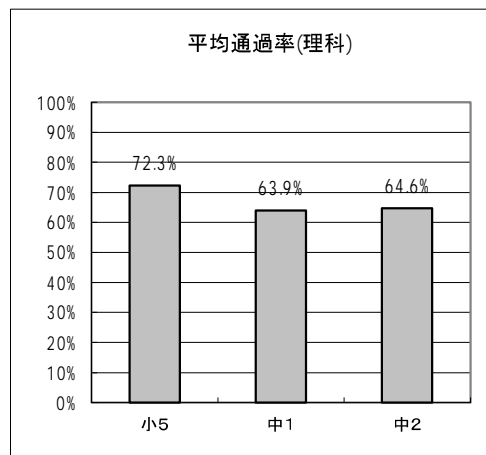
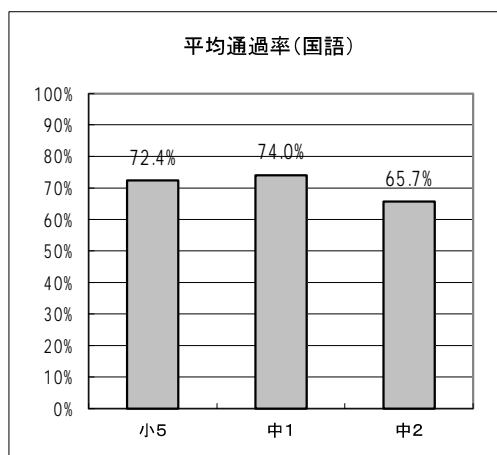
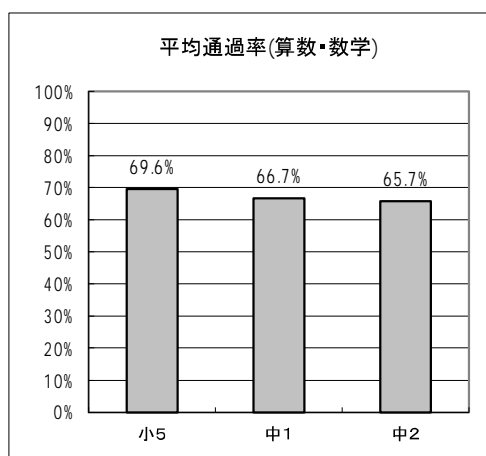
1 各教科の平均通過率(県全体)

ここでは、各教科ごとに調査実施学年の平均通過率を示しており、本県の「基礎・基本」の定着状況の概要を、教科・学年ごとに見ることができる。

- (1) 全14調査中、目標平均通過率を達成したものが4調査、達成と同視できるものが4調査であり、県全体では、昨年度から一定の改善が図られたと評価できる他方、県内の各地区間・各教科間では、改善の見られたものと見られないものの差が大きく、注意が必要である。
- (2) 下記の、県としての全体的な課題・傾向については、依然として継続している。

(但し、各地区間及び各教科間で差はある。)

- ・ 小学校段階の通過率は、すべての教科で概ね目標を達成しているが、中学校段階では、学年の進行に伴い、学力の定着が十分に図られていない面がみられる。
- ・ 小学校・中学校段階に共通して、基本的な知識・技能については比較的定着がみられるものの、それらを活用し、思考・表現する力が不十分である。



2 各教科の内容・領域及び観点別の平均通過率(県全体)

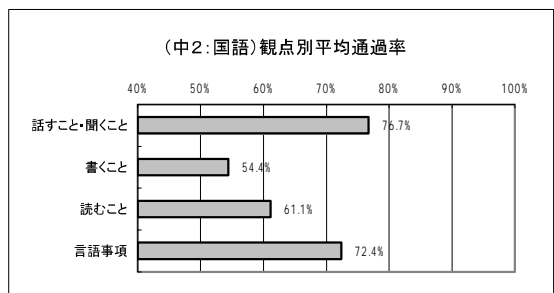
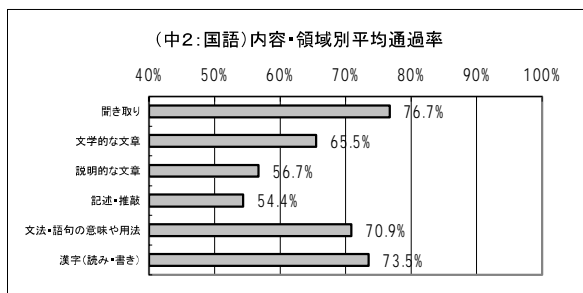
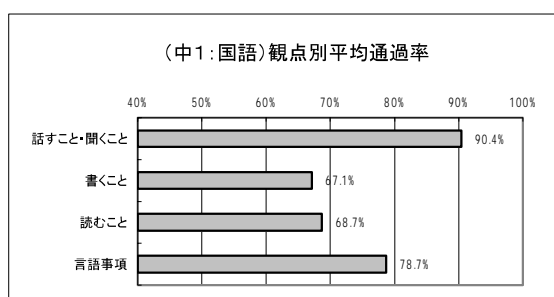
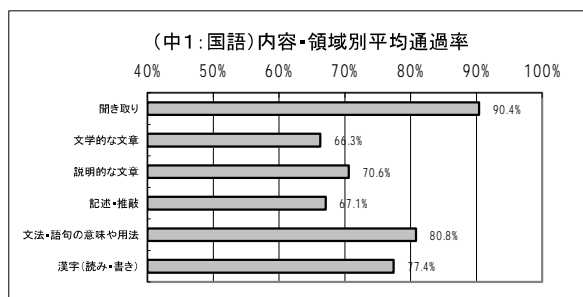
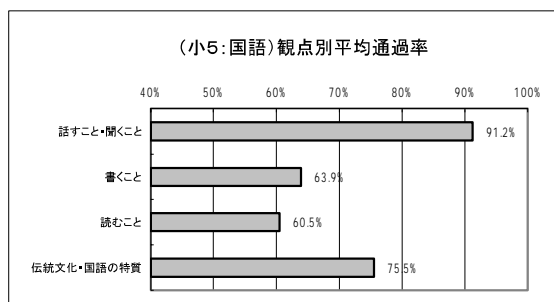
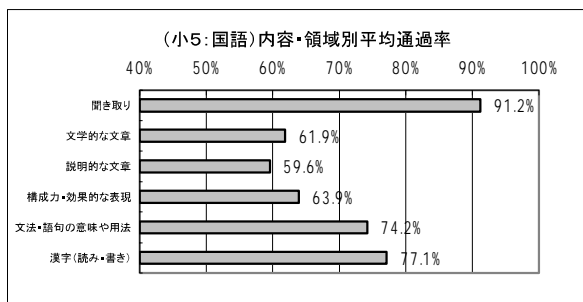
(1) 【国語】

学年別平均通過率

小5 72.4%

中1 74.0%

中2 65.7%



小学5年

- 全体の平均通過率は72.4%であり、概ね基礎・基本の定着は図られているが、観点「書くこと」が63.9%、「読むこと」が60.5%の通過率にとどまった。
- 友達のアドバイスを参考にして、自分の発表(提案)の内容を見直して、自分の考えを提案としてまとめ、記述する問題に対応できるような授業改善が必要である。

中学1年

- 全体の平均通過率は74.0%であり、すべての観点・領域で概ね70%程度以上の平均通過率を示していることから、基礎・基本の定着は図られている。
- 小学校で4年連続出題してきた漢字の書き取り問題を中学1年で出題したが、顕著な改善がみられなかった。※ 絵にかんしんをもつ。
(H21・5年生) 47.7%→(H22・5年生) 51.3%→(H23・中1年生) 48.0%
- 「読むこと」の一部、「書くこと」の推敲に関する問題について指導の充実が必要である。

中学2年

- 全体の平均通過率は65.7%であり、概ね基礎・基本の定着は図られているが、観点「書くこと」が54.4%、「読むこと」が61.1%にとどまり、課題がみられる。
- 文法の品詞分類に関する問題について初めて出題したが、基本的な知識が身に付いていない。(活用:53.6% 体言・用言:46.8%)
- 報告文の内容(グラフや文章)を参考にして、外来語の使用について、支持・不支持の立場を明確にして、自分の意見や考えを記述する力の定着を図る必要がある。

【特に定着を図りたい問題 <小5国語>】

7 資料を提示しながら説明や発表をする活動場で、友達の助言（アドバイス）を参考に、自分の考えを提案としてまとめ、記述する問題

問1 ①「発表の最初に、この【資料】を見せたら」という原田くんのアドバイスがありました。

(1) 資料の選択

通過率 83.6% / 無解答率 2.2%

【資料】にふさわしいのはどちらでしょうか。

問2 ②「発表の最後に、日本の食料生産を高めるための取り組みを提案したら」という山野さんのアドバイスがありました。提案を付け加えたとしたら、どのような内容がふさわしいでしょうか。

(2) 取り組みの提案

通過率 56.3% / 無解答率 11.9%

(3) 提案の理由

通過率 42.8% / 無解答率 18.2%

② 発表の最後に、日本の食料生産を高めるための取り組みを提案したら、聞く人にももっとうったえることができる発表になるのではないのでしょうか。

さらに、「みなさんも、日本の食料生産が高まるように、いろいろな取り組みを考え、実行してみましょ」と、よびかけて発表をまとめればいいと思いますよ。

① 「農業をする人の数の変化」のグラフを中村さんが見せてくれたので、農業をする人の数がだんだん減ってきていることがとてもよく分かりました。

そこで、①「発表の最初に、この【資料】を見せたら、日本が国内で食料を生産するわりあいもここ四十年間でだんだん減っていることがよく分かるし、聞く人は関心をもってくれると思います。」

【中村さんの発表】

わたしは、日本が国内で食料を生産するわりあいですが、ここ四十年間でだんだん減っていることに、疑問をもちました。そして、調べてみて分かった原因が、二つあります。

第一に、日本人の食生活が変わり、たくさんの食料が外国から輸入されるようになったからです。和食中心の昔と比べて食の好みは多様になり、多くの種類の食料が必要になりました。

第二に、日本で、農業や漁業をする人の数が、年々減っているからです。このグラフは、「農業をする人の数の変化」を表したものです。ここ二十年間で、農業をする人の数が、二百万人以上も減っていることが分かります。

これらの原因から、日本が国内で食料を生産するわりあいが、だんだん減っているのです。

【グラフ】 農業をする人の数の変化（農林水産省）

年	人数(万人)
1990年	482万人
1995年	411万人
2000年	389万人
2005年	335万人
2010年	281万人

○ 問1は、中村さんの発表に対する原田くんのアドバイス（助言）の内容を的確にとらえ、ここで用いるべき適切な資料（グラフ）を選ぶ能力をみた。

○ 問2は、中村さんの発表に対する山野さんのアドバイス（助言）の内容を参考に、自分の考えを提案としてまとめ、条件にしたがって、記述する能力をみた。

- [条件]
- ① 内容を二つの文に分けて、第一文には、あなたが考える取り組みを書きましょう。その際、中村さんが述べていたことから一つ選び、それを参考にすること。
 - ② 第二文には、その取り組みを考えた理由を書きましょう。

※ 小学校3・4年の「書くこと」の指導事項
「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じ理由や事例を挙げて書く能力」を

※ 小学校5・6年の「書くこと」の指導事項
「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書く能力」まで高める。

(指導のポイント)

小学校5・6年「話すこと・聞くこと」の言語活動例を指導に生かす。

「資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする言語活動」

《資料を提示しながら「説明」や「報告」をする活動の場面を設けて具体的な指導をする。》

○ 小学校学習指導要領解説国語編P.58-59「ウ・エ 記述に関する指導事項」

〃 P.82-83「ウ・エ 記述に関する指導事項」

鹿児島チャレンジP. 2～3ページ、34ページ、平成23年度追加改訂に取り組みさせてみよう。

【特に定着を図りたい問題 <中1国語>】

- 5 小説「カレーライス」を2つの方法でまとめた読書記録の内容を比較し、あなたならどちらの方法でまとめるか、理由や目的を挙げて、自分の考えを述べる。
- 問1 「田中くんの読書の記録」の(一線部)には、文体の不統一(常体、敬体の不一致)があったので、訂正することにした。左の訂正例にならって、訂正すべき部分を正しく書きかえよ。
- 問2 「小川くんの読書の記録」の項目の()には、どのようなことばが入るか。「田中くんの読書の記録」の内容を参考にして、簡潔に書け。
- 問3 「田中くんの読書の記録」と「小川くんの読書の記録」を比べて、あなたなら二人のどちらの書き方で読書の記録をまとめようとするか。次の条件にしたがって書け。
- (1) 推敲 通過率 33.0% / 無解答率 5.1%
 (2) 構成 通過率 71.1% / 無解答率 5.5%
 (3) 記述 通過率 77.1% / 無解答率 7.9%
- ① 第一文には、あなたが二人のどちらの書き方で読書の記録をまとめようと思ったかを書くこと。
 ② 第二文以降には、あなたが選んだ書き方でまとめようと思った理由や目的を書くこと。
 ③ 原稿用紙の使い方にしたがって、四行以上、六行以内で書くこと。

【小川くんの読書の記録】 ← 読み比べる → 【田中くんの読書の記録】

<p>○ 作品名 「カレーライス」</p> <p>○ 著者 重松 清</p> <p>○ 出版社・出版年月 文藝春秋・二〇〇七年七月</p> <p>○ 読み終えた日 二〇一一年七月二五日</p> <p>○ 主な登場人物 父、母、ぼく</p> <p>○ あらすじ</p> <p>けんかをしたままむかえた「お父さんウィーク」。自分の成長を「中辛」のカレーライスを作ることで伝えた「ぼく」と、お父さんとの様子が書かれている。</p> <p>○ 一番()</p> <p>でも、「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ、そうかそうか」とうれしそうに何度もうなずくお父さんを見ているとなんだかこつちまでうれしくなってきた。</p> <p>○ 一言感想</p> <p>わたしも、父親とのキャッチボールを思い出し、「ぼく」の気持ちに共感できた。</p>	<p>「カレーライス」を読んで夏休みに重松清の「カレーライス」を読むことにした。小学校のとき、教科書で学んだことを思い出したからだ。短編集のうちの一篇であったが、おもしろくて一日で読めました。</p> <p>登場人物は、父、母、「ぼく」で、家族が中心の話だ。一番印象に残った場面は、素直に謝れないでいる「ぼく」が、お父さんのために中辛のカレーライスを作ったところだ。お父さんが、「中辛」(成長)を喜んでる姿を見て、「ぼく」もうれしくなってきたところが特に印象に残った。「中辛」によって、自分が成長していることを伝えられてうれしかつたのかなと思った。</p> <p>わたしも、キャッチボールをしているとき、父親から、「球が速くなって、手が痛い。」とうれしそうに言われたことがある。この小説を読んで、「ぼく」と同じような気持ちになったことを思い出した。</p>
--	--

- 問1は、文体の不統一(常体、敬体の不一致)を正しく書き換える基本的な推敲の問題である。平均通過率が33.0%で、今年度調査で最も低い通過率である。文体の統一は、小学校3・4年生の指導事項であるが、中学校でも「書くこと」の推敲に関する指導事項として、日頃から繰り返して指導する必要がある。
- 問2は、読書の記録の内容をとらえ、読書記録を構成する能力をみた。
- 問3は、田中くんと小川くんの読書の記録を比べて読み、記録の内容やその書き方の相違点を踏まえ、自分ならばどの書き方を選んで書くか、理由や目的を明確にして記述する能力をみた。(指導のポイント)
- 中学校1年「書くこと」の言語活動例を指導に生かす。
- 「ア 鑑賞したことを文章に書くこと。」
- ① 自分が読んだ本について「読書の記録」を書く目的を明確にする。(どんな目的で書くのか。)
- ② 鑑賞の視点を持たせて、国語の時間に「読書の記録」を書かせる。(表現の仕方、作品から伝わる思いや見方・考え方、作品から受けた印象・感動など)
- 中学校学習指導要領解説国語編 P. 33 「ウ 記述に関する指導事項」
 // P. 34 「中1 B書くこと ②言語活動例 ア」
 鹿児島チャレンジ P.19-21 47-48 「感想文・意見文の読み比べ方」に取り組みさせてみよう。

【特に定着を図りたい問題 <中2国語>】

5 中学生が書いた「外来語」に関する報告文を読み、外来語の使用に関する自分の立場を明確にして、根拠に基づいた自分の考えを記述する問題

問1 報告文の「1 はじめに」の最後の一文には、文体の不統一（常体、敬体の不一致）があったので訂正することにした。左の訂正例にならって、訂正すべき部分を正しく書きかえよ。

問4 この報告文を読みながら、西さんと東さんは、外来語の使用について次のように話している。あなたは西さん、東さんのどちらの立場の意見を支持するか。あなたが支持する人の名前を□に書き、そのように考える理由を「なぜなら」で書き始め、条件にしたがって書け。

報告文

【報告文】 外来語の使用について 氏名 北城 真

1 はじめに（動機・目的）
以前テレビを見ていたとき「私はあの映画監督を“リスベクト”しているんです。」と書いているのを見て、最近では難しい外来語を使うことが増えていると感じた。“マニフェスト”“アセスメント”など一般的に使われている言葉でも意味がわかりにくいものも多い。確かに、外来語を使うことで表現しやすいこともある。しかし、わかりにくい表現も増えているのではないだろうか。そこで、外来語の使用についてどのように使うのが適切なのかを調査しようと思った。

2 調査結果（分かった事実）
インターネットで検索した結果、文化庁の「平成19年度 国語に関する世論調査」に外来語の使用に関するアンケートがあることが分かった。次はその一部を関や表によるものにする。

(1) 外来語の使用を好ましく感じるかどうかについて

(グラフ1) 外来語の使用を好ましく感じるかどうか

■ どちらからかと言うと好ましいと感じる	29%
■ どちらからかと言うと好ましくないと感じる	44%
■ 別に何も感じない	14%
■ 分からない	14%

(2) 外来語の使用を好ましくない・好ましくないと感じる理由（複数回答）について

(グラフ2) 外来語の使用を好ましくないと感じる理由

理由	割合 (%)
A 日本語の本来的な良さがあるから	55.6
B カタカナ語は分かりにくいから	65.5
C 言葉が乱れて日本文化が壊れてしまうから	35.0
D 体 裁の乱れだけを追っているようだから	37.6
E カタカナ語は聞いたから	3.2

3 結果についての考察
グラフ1から（ ）
その理由を裏1で見ると、外来語の使用を好ましくないと感じる理由としては、「A日本語の本来的な良さがあるから」、「Bカタカナ語は分かりにくいから」が共に55%を超えている。日本語がもつ独特な表現や文化を大切にしたいと思ったり、外来語をわかりにくいと感じる人がいるのも確かである。一方で、グラフ2を見ると、外来語の使用を好ましいと感じる理由は「Aカタカナ語でなければ表せない物事があるから」が66%と最も多い。情報化社会により外来語の必要性が高まった結果かもしれない。

(1) 推敲 通過率 29.6% / 無解答率 16.7%
(4) 記述 通過率 53.2% / 無解答率 11.6%

四 この報告文を読みながら、西さんと東さんは、外来語の使用について次のように話している。

西さん わたしは、外来語をなるべく使わないようにした方がいいと思うわ。

東さん わたしは、外来語を使ってもかまわないと思うの。

あなたは西さん、東さんどちらの立場の意見を支持するか。あなたが支持する人の名前を、□に書き、そのように考える理由を「なぜなら」で書き始め、次の条件①から④にしたがって書け。

【条件】
① 二段落で構成すること。
② 一段落目には、理由を、報告文にある表やグラフ及び考察の内容を参考に書くこと。
③ 第二段落は「例えば」で書き始め、外来語の具体例を挙げて説明すること。
④ 原稿用紙の使い方があって自二十文字以上、百六十文字以内で書くこと。（解答用紙に書かれている書き出しの文字数を含む。）

※ 常体で書き、数値を引用したい場合は、次の例にならって書くこと。

例 30%
2割

- 問1は、文体（常体と敬体）を統一する基本的な設問であるが、通過率は29.6%である。今年度調査で最も低い通過率の問題である。（中1年生の内容を参照。）
 - 問4は「外来語の使用について」に関する報告文を読んで、自分の考えを記述する力をみた。次の2つの能力が必要である。
 - ・ 自分の立場を明確にして文章の構成を工夫する能力
 - ・ 事実や意見が相手に効果的に伝わるように、報告文から根拠となる事実を取り上げ（引用し）て、自分の考えを記述する能力
- (指導のポイント)
- ① 中学校2年「書くこと」の言語活動例を指導に生かす。
【イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動】
- ② 中学校2年「書くこと」の指導事項を指導する。
【ウ 意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く】力の定着
- 小学校の指導事項との関連→【小学校5・6年「書くこと」の指導事項 エ】
 「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」
 …「引用」して書くと、自分の考えを根拠付けたり、具体的な例を示したりする際に、
 本や文章などから必要な語句や文を抜き出して、自分の表現に取り入れること。

- 中学校学習指導要領解説国語編P. 51「イ 構成 ウ 記述に関する指導事項」
P. 53（中2 B書くこと ②言語活動例 イ）
鹿児島ベーシック中2 平成23年度追加改訂2の類題に取り組みせよう。
鹿嶋中1 平成23年度追加改訂3の類題に取り組みせよう。